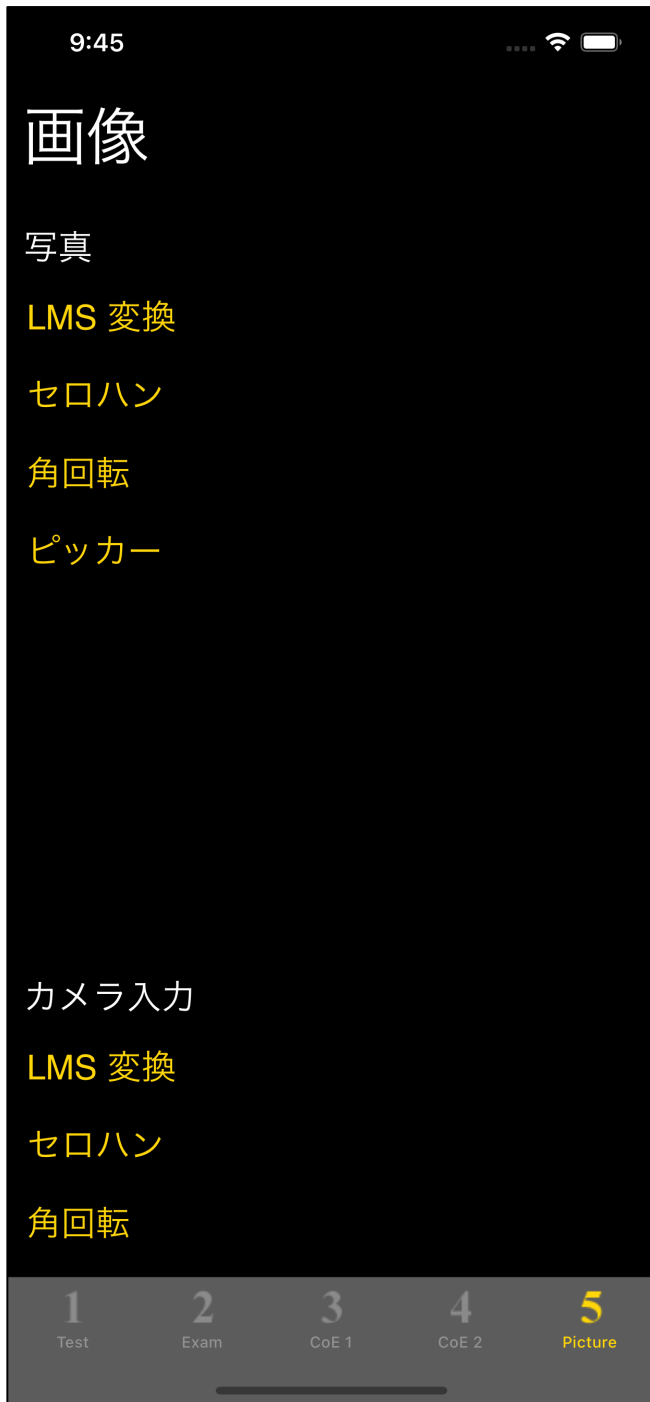


# ピッカー



5枚目のタブの、3番目のコマンドが、ピッカーです。

写真(カメラロール)から読み込んだ画像のピクセル値を表示します。

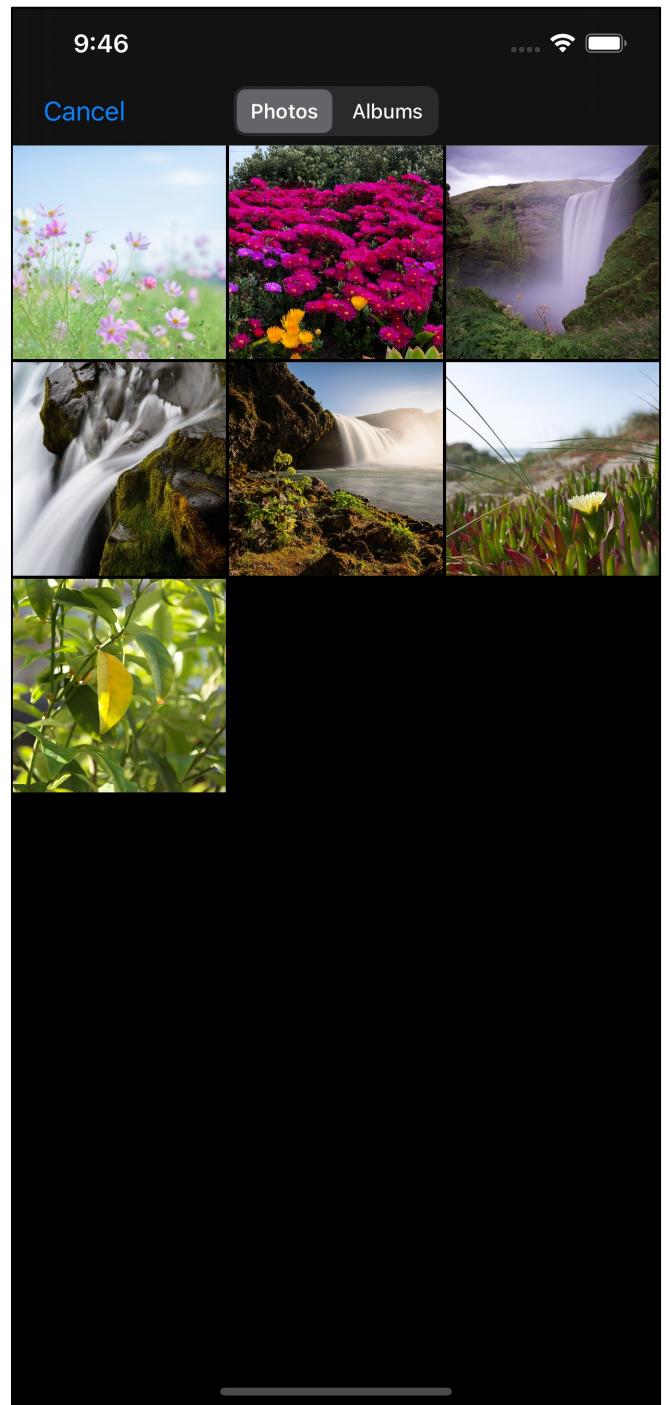
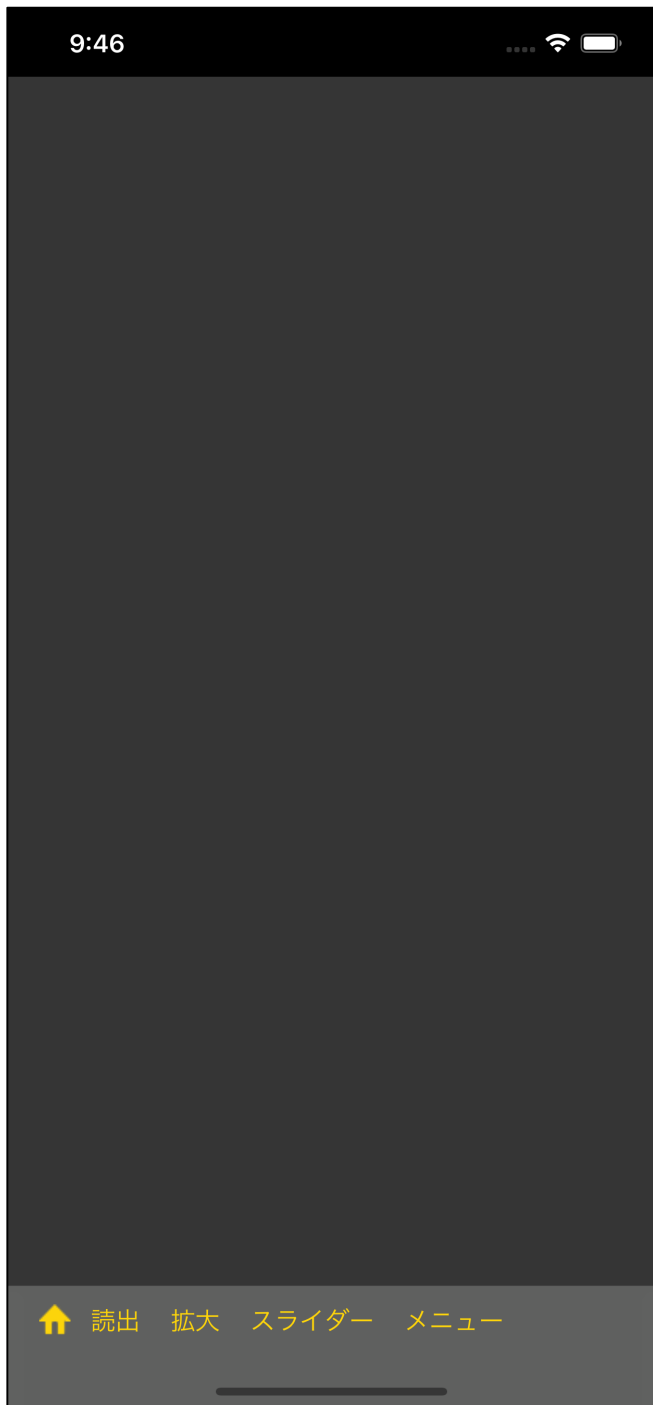
ここのピッカーは、メイン からばれるものです。  
スライダーから呼ばれるピッカーと動きは同じです。

ここのピッカーは、メイン から呼ばれるものです。  
スライダーから呼ばれるピッカーと動きは同じです。

スライダーがピッカーを呼び出す。(ピッカーで色値入力)

ピッカーが、スライダーを呼び出す。(ピクセル色の詳細表示)

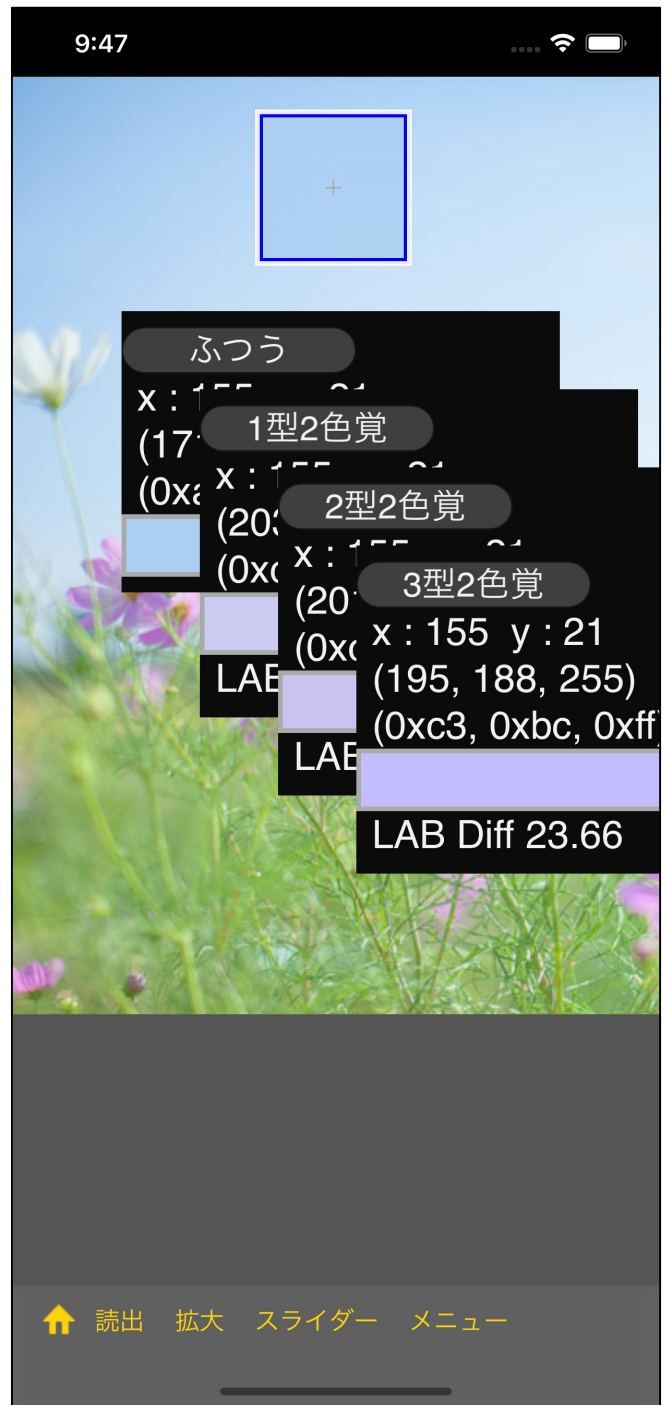
というように、主従関係が逆になるだけです。



最初、真っ黒なビューが出てきます。

ツールバー上の "読出" ボタン を押すと、右のように、写真(カメラロール)の選択になります。

一番最初の画像を選択すると、次のようになります。



最初は、左のようになります。

カーソルビューを動かしはじめると、値表示ビューに値が表示されます。

カーソルビューの左上隅が、マウスカーソルポイントのような位置になります。

このカーソルビューは、10倍の拡大鏡(ルーペ)になっています。

カーソルビューの左上隅が指す、原画のピクセルは、  
カーソルビュー内部では、中央(十字の位置)に表示されます。



値表示ビューを散らばらせると  
このようになります。

ここで、"スライダー" ボタンを押すと、"ふつう" に表示されている値で、  
スライダービューが表示されます。

10:00

ふつう

R:206 G:154 B:228  
#ce9ae4  
Hex: G:0x9a B:0xe4

RGB 階調値:196

H:282.16  
S:0.32  
V:0.89

PB (No.9)

調整 サンプル 変更

10:01

1型2色覚

R:160 G:160 B:228  
#a0a0e4  
R:0xa0 G:0xa0 B:0xe4

RGB 階調値:182

H:240.00  
S:0.30  
V:0.89

Blue (No.8)

RGB 色差:46.39

L\*:70.76  
a\*:32.37  
b\*:-29.96

LAB 色差:17.93

L\* 差:2.58  
a\* 差:17.22  
b\* 差:4.31

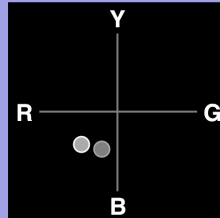
調整 サンプル 変更

10:01



LAB 色差:17.93

L\* 差:2.58  
a\* 差:17.22  
b\* 差:4.31



← 調整 サンプル 変更



ここで、"調整" ボタンを押して、スライダービューで、色値を見て行っていただいても構いません。

ここは、ここで、好きに、スライダーを動かしていただいても、問題は起こりません。

ピッカーで読み込んだピクセルや、他のところを出したスライダービューに影響を及ぼすようなことはありません。





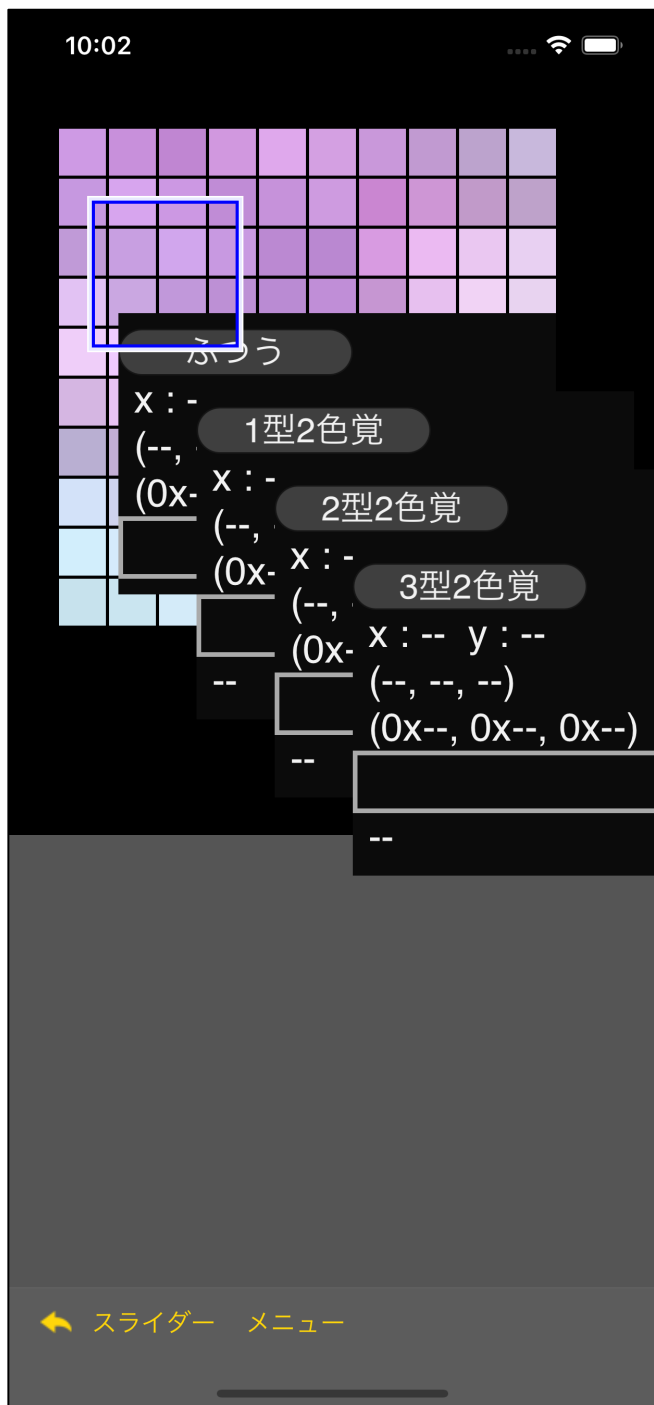
スライダービューから戻ると、元のピッカービューが表示されます。

ツールバーの3番目の“拡大”ボタンを押すと、次のように、カーソルビューの左上隅あたりの10 × 10 のピクセル値を拡大したビューが出てきます。

(ここは、最大で、10 × 10 です。

たとえば、原画像がこのサイズよりも小さいとか、カーソルビューの左上隅が原画像の端っこの方を指しているとかの場合は、5 × 8 とかになります。

また、カーソルビューの左上隅が原画像の領域外の場合、拡大ビューに遷移しません。)



カーソルビューを動かしはじめると、値が表示されます。

拡大ビューのカーソルビューは、左上隅がマウスポインタです。

値表示ビューを散らばらせると、右のようになります。

拡大ビュー側も、"スライダー" ボタンを押すと、スライダービューが出てきます。

10:04

ふつう

R:216 G:235 B:252  
#d8ebfc  
xd8 G:0xeb B:0xfc

RGB 階調値:234

H:208.33  
S:0.14  
V:0.99

BC (No.7)

R:233 G:232 B:252  
#e9e8fc  
R:0xe9 G:0xe8 B:0xf

1型2色覚

RGB 階調値:239

H:243.00  
S:0.08  
V:0.99

Blue (No.8)

RGB 色差:17.26

調整 サンプル 変更

10:04

RGB 色差:17.26

L\*:92.15  
a\*:-2.91  
b\*:-10.33

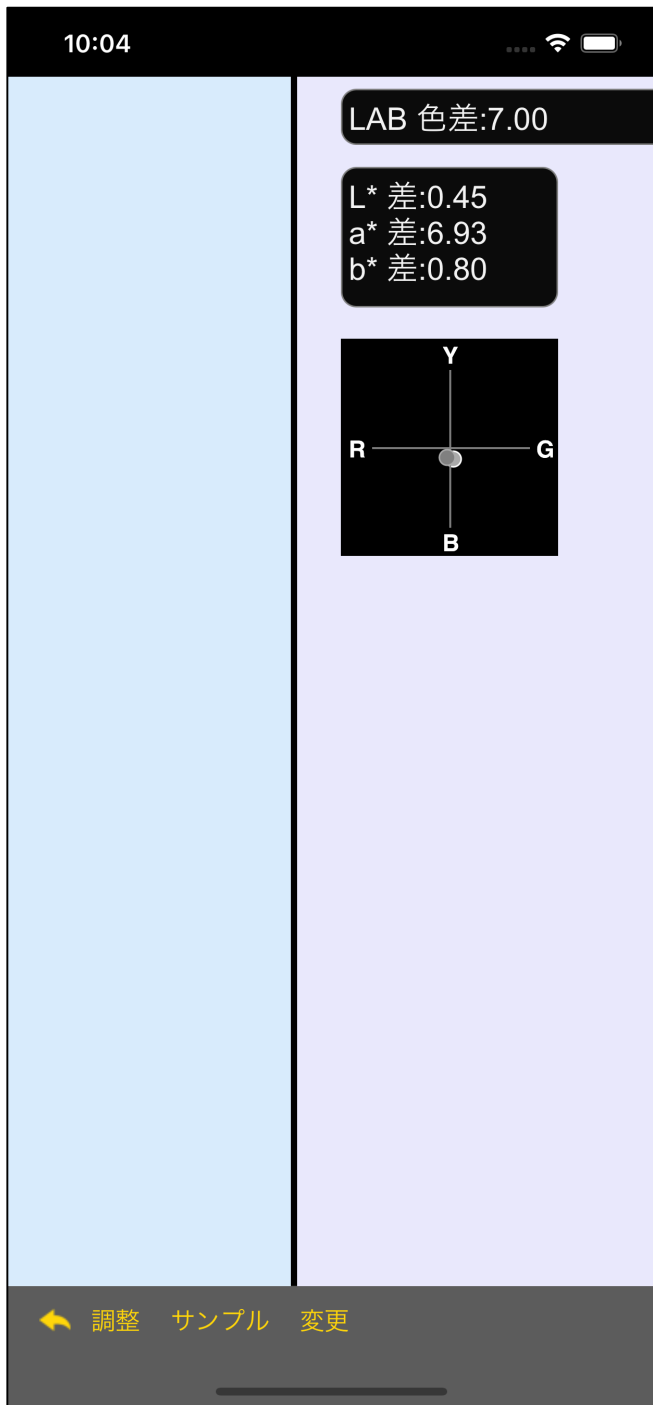
RGB 色差:17.26

L\*:92.60  
a\*:4.02  
b\*:-9.53

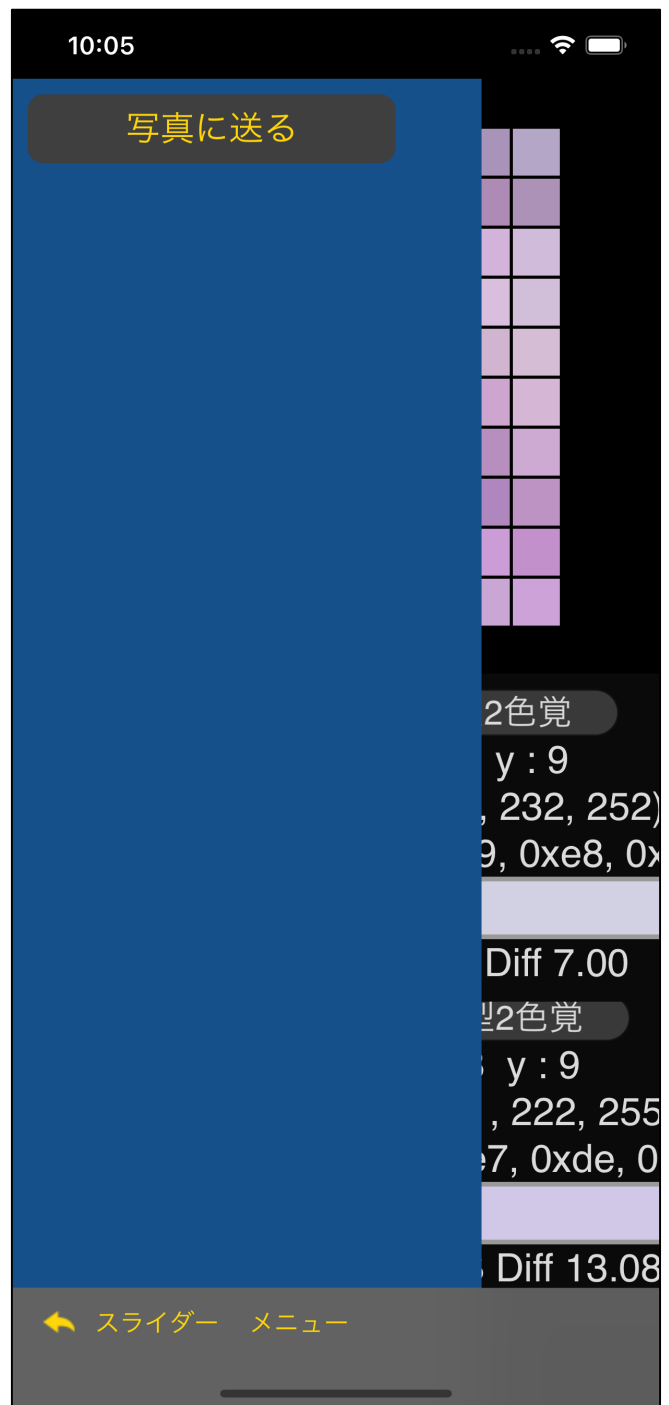
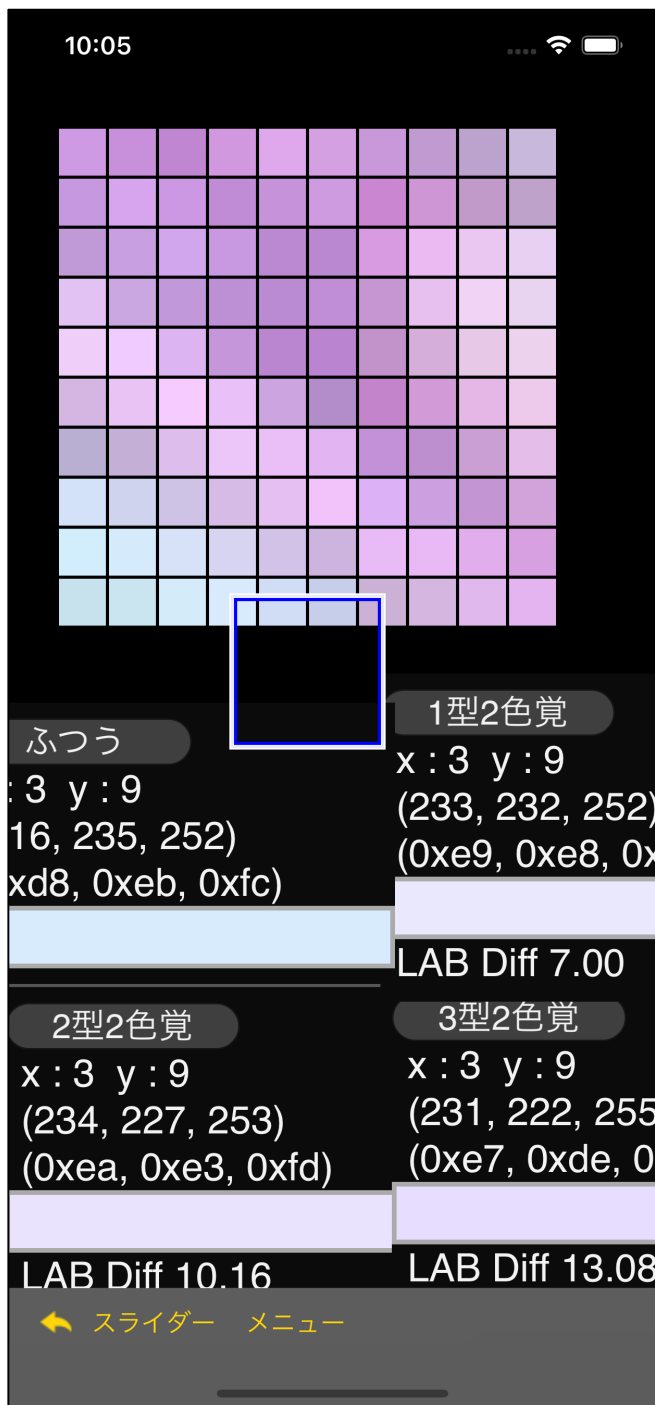
LAB 色差:7.00

L\* 差:0.45  
a\* 差:6.93  
b\* 差:0.80

調整 サンプル 変更



この色値の場合では、2つの円が重なっていますが、やはり、それなりに離れて重なっています。



拡大ビューのパターン部分を長押しすると、このようなメニュービューが出てきます。

"写真に送る" ボタンを押すと、表示しているパターンそのものが、写真(カメラロール)に転送されます。

実際に送ると、次のようになります。

10:05



All Photos

Select



All Photos



For You



Albums



Search

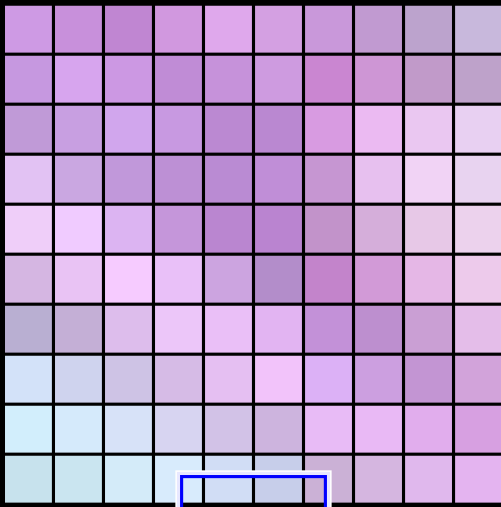


ツールバー上の "メニュー" ボタン を押すと、値表示ビューの、表示-非表示の設定メニューが出てきます。

1型2色覚 と 2型2色覚 だけを表示させると、次のようになります。



10:07



ふつう

1型2色覚

x : 3 y : 9

(233, 232, 252)

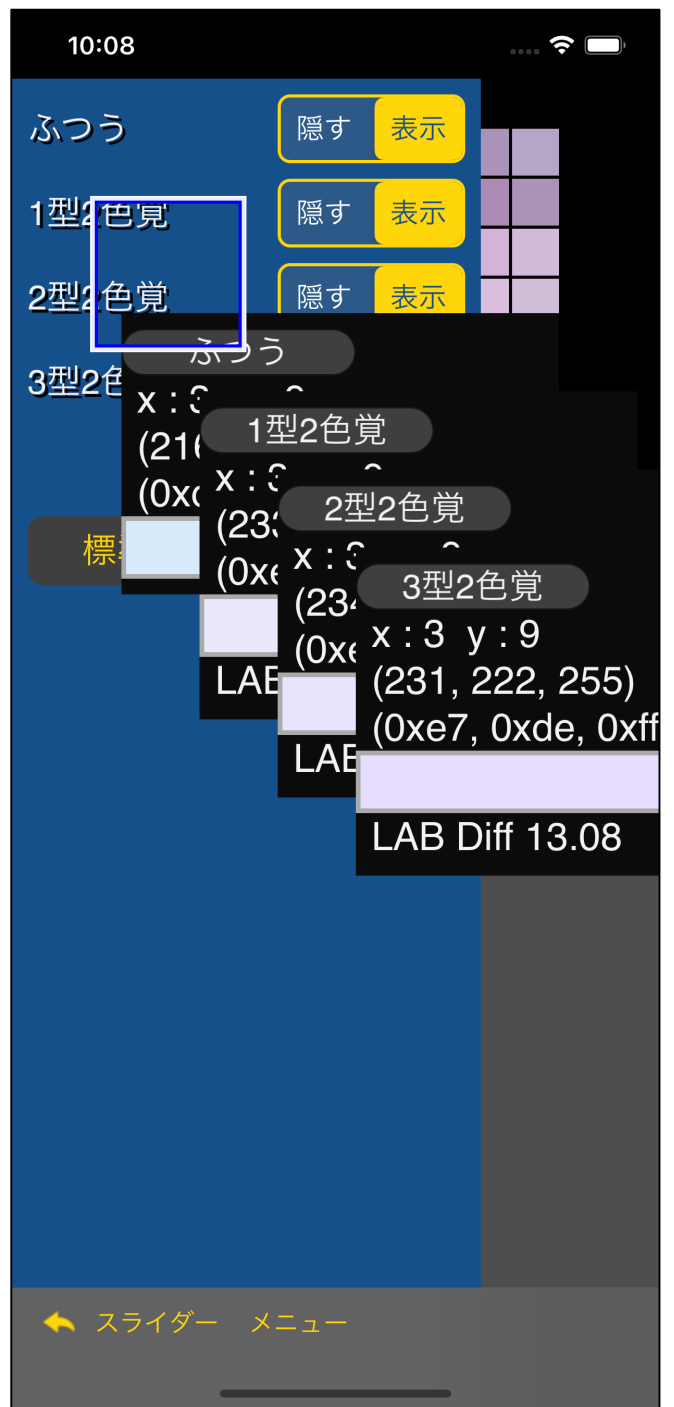
(16, 235, 252)

(0xe9, 0xe8, 0x

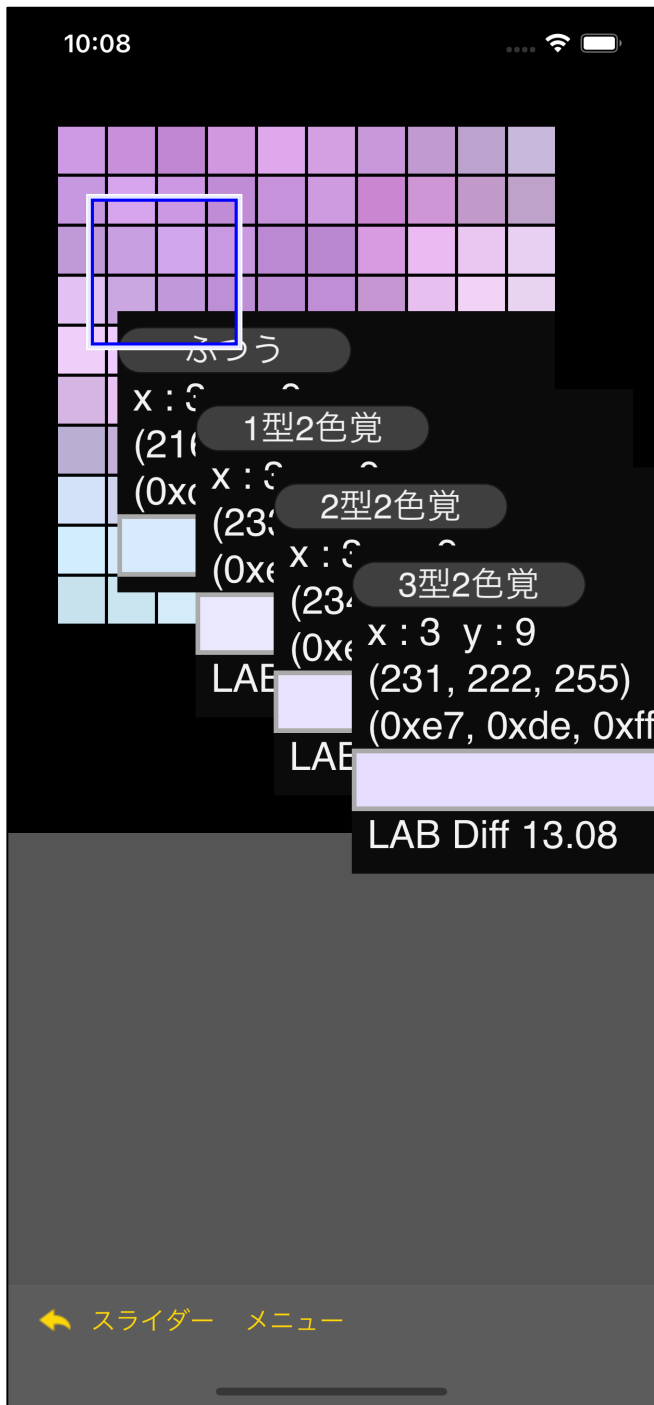
xd8, 0xeb, 0xfc)

LAB Diff 7.00

← スライダー メニュー

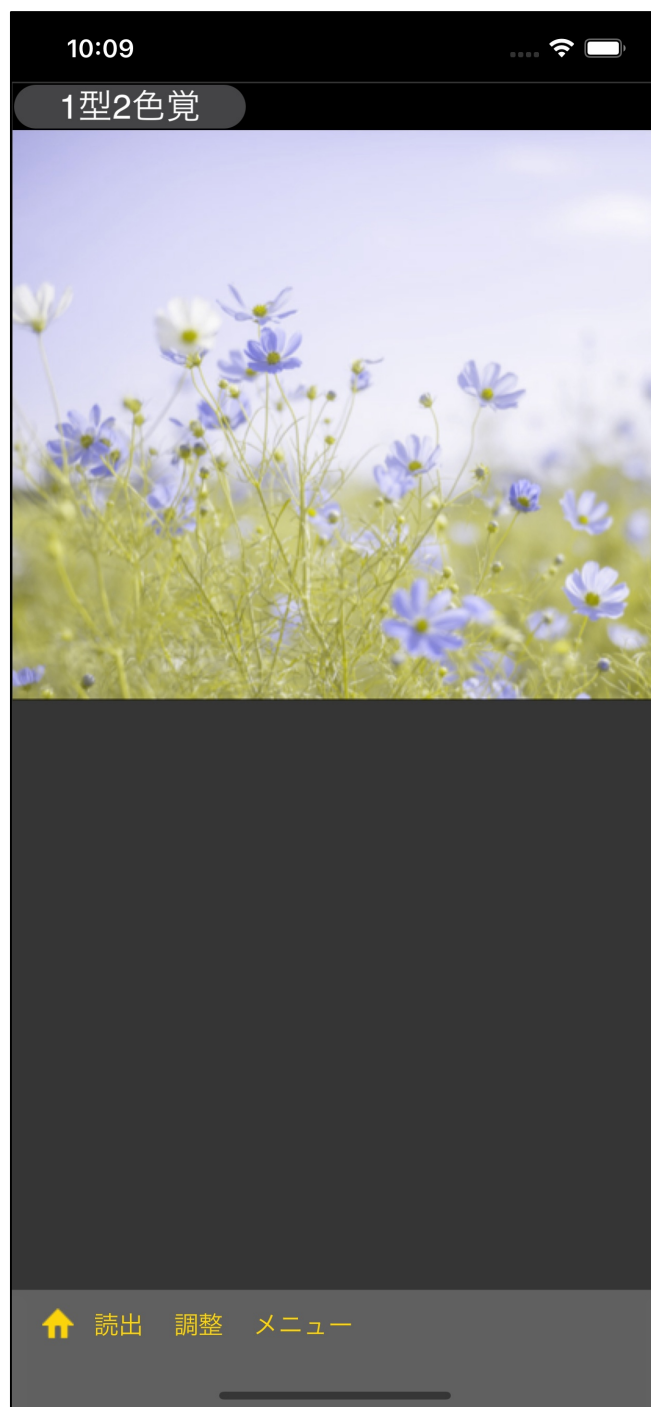
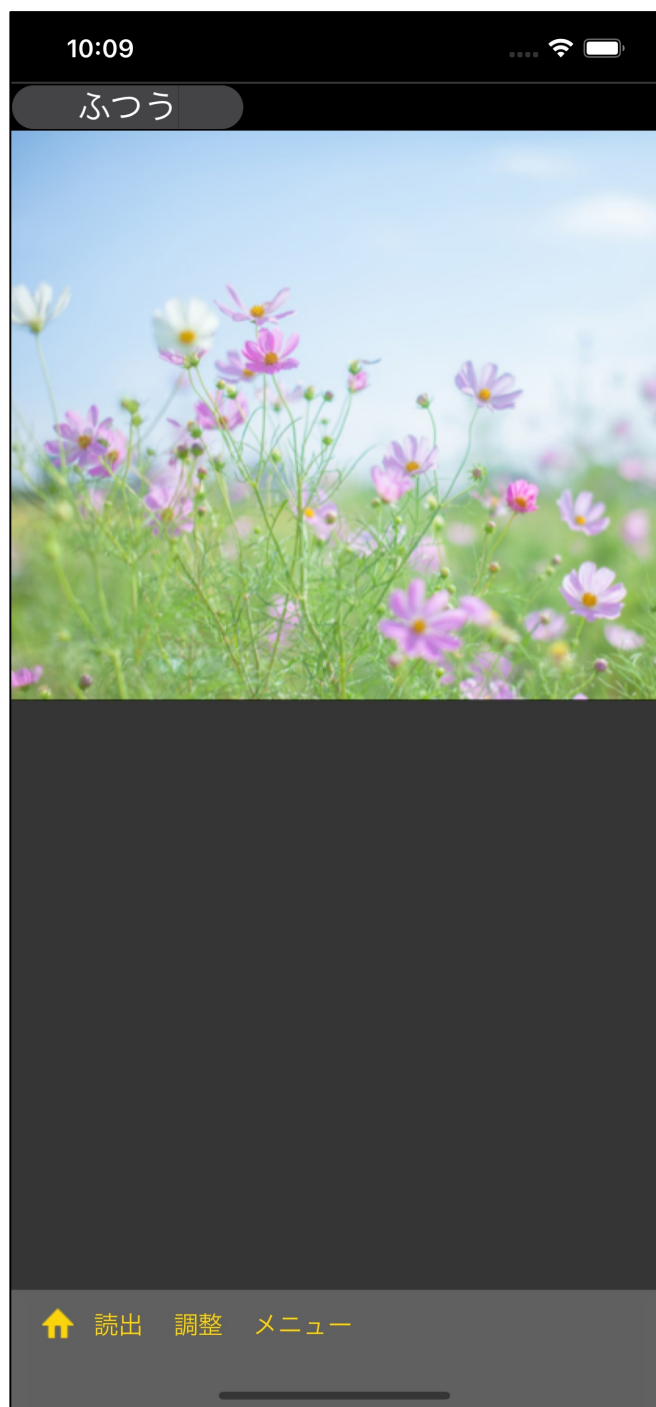


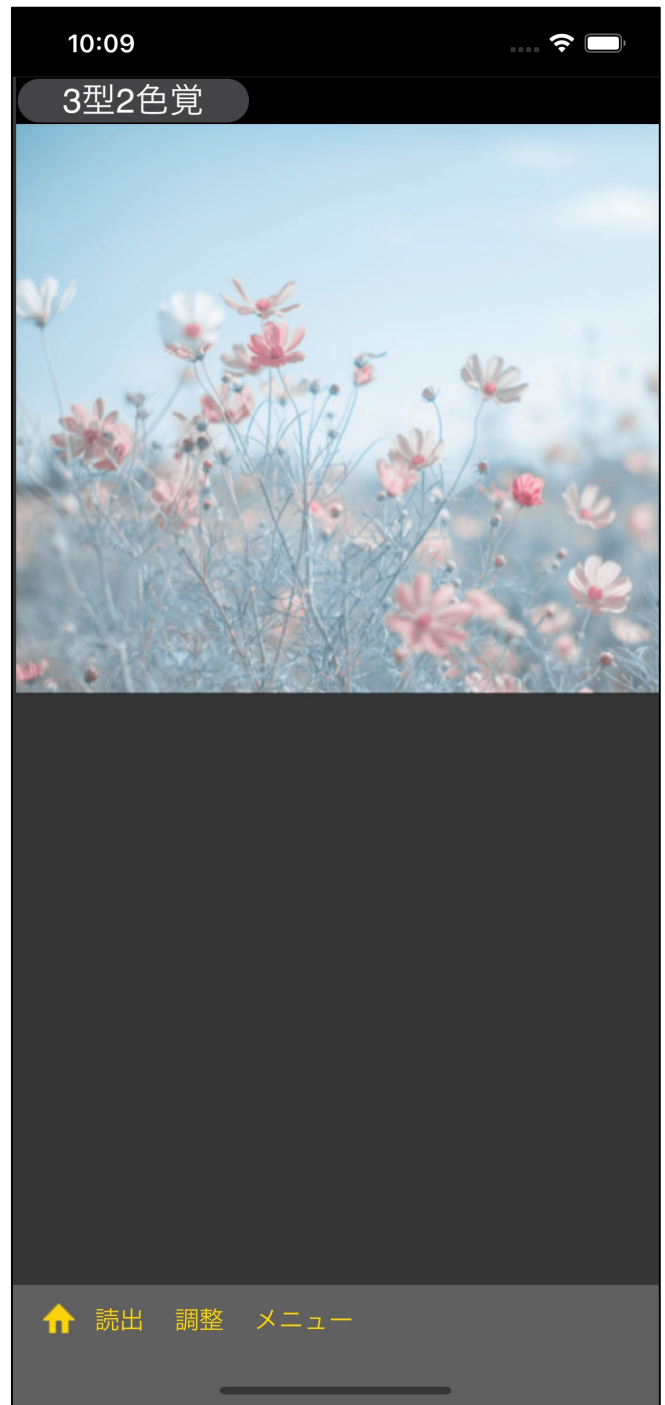
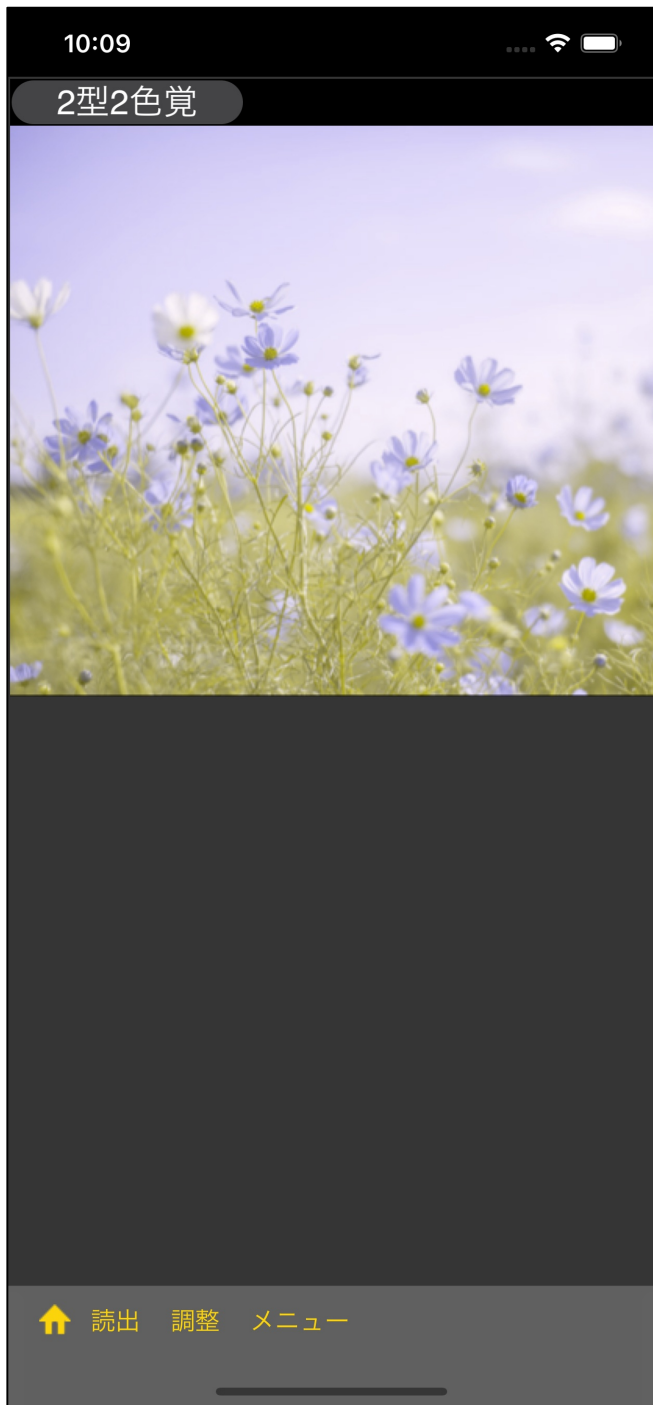
メニュービューの "標準位置に" ボタンを押すと、  
カーソルビュー、値表示ビューが規定の位置に来ます。



こういう位置に来ます。

この例で使った画像を、LMS 変換で見ると、次のようなものになります。





ふつう



🏠 読出 調整 メニュー

1型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー

## 2型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー

## 3型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー